

品川宿

平成26年3月20日発行
品川第一地域センター
(03-3450-2000)

江戸東京野菜

◆◆◆ 第二回 ◆◆◆

品川蕪(かぶ)品評会

平成25年12月23日(祝)、品川神社境内において、「東海道品川宿なすびの花」主催による品川かぶの品評会が開催されました。



今回で2回目となる品評会では、区内外の小学校・保育園など12団体で栽培・収穫されたカブの形や大きさ、葉の色、パランスなどを競い合いました。

品川かぶ

江戸時代に品川宿周辺で栽培されていた「品川かぶ」は長さ20センチ、太さ5センチ程度で大根のような見た目をしていた。近頃、加賀野菜と並び「江戸東京野菜」の一つです。味は甘みが強く、煮込んでお味噌汁や、煮干し、佃煮などに使われます。



厳正なる審査の結果、品川学園が「虫食いも病気もなく、長さや太さなどのバランスが良い」などとして見事「金賞」に選ばれ、表彰状と記念品が贈呈されました。

児童たちからは、「毎日の水やりや雑草を抜くのが大変だった」「青虫が気持ち悪かった」など、今までの栽培してきた苦労話が出つつも、一生懸命に育てたかぶが受賞して大喜びしていました。

また、会場では千住ネギを使った串カツやネギ焼き、品川かぶ入りの「品川汁」など、江戸時代からの伝統がある野菜の料理が来場者約350人に振る舞われました。



品川汁は、品川から青森県むつ市に伝わり郷土料理となっているもので、青森では豆腐をすりつぶしてダシ汁でのばして作りますが、品川バージョンでは品川かぶと「豆乳」を使うことが特徴となっています。

来場者は初めての品川汁の味に、満面の笑みを浮かべ、おいしそうに食べていました。主催者の大塚代表は、「畑の無い品川区に畑を作ることが私の夢です。子どもから高齢者までが一緒に育てたい。品川かぶを育ててください。」と品川かぶに対する思いを熱く語りました。



アイススケート



2月9日(日)、青少年対策品川第一地区委員会主催による「レッツ・アイススケート」が横浜市の神奈川スケートリンクで実施されました。

参加者は、小学生を中心に総勢102名でした。当日の朝、京急新馬場駅に集合した一行は、電車に乗って仲木戸駅まで行きました。スケートリンクに到着した後は、皆で軽い準備体操をして、寒さで硬くなっていた体をほぐし合いました。

そしてスケート靴を履いて、いよいよスケート開始です。

このスケートリンクには大きなメインリンクと小さなサブリンクがあります。

「サブリンク」では初心者スケート教室があり、小さなお子さんがお父さんやお母さんと一緒に一生懸命チャレンジする姿が見られました。特に今年は教室に参加する方が多く、たった30分のレクチャーで滑れるようになったと大喜びしていました。

「メインリンク」では、友達同士で手をつないで楽しく滑ったり、一周何秒掛かるかを競って遊ぶ姿が見られました。

また、リンク内がいつもより空いていたため、参加者はのびのびとスケートを楽しむことができました。

スケートで遊ぶ合間には皆で並んでお弁当を食べ、どれだけ上達したかを、和気あいあいと語り合っていました。

前日に大雪が降り、開催が危ぶまれましたが、当日は晴天となり無事に実施することができました。

約3時間という短い間でしたが、参加者皆さんが自由滑走を存分に楽しみました。



たこづくり教室 & 親子たこあげ大会

＜ たこづくり教室 ＞

1月11日(土)、翌日のたこあげ大会で揚げるたこを作るため、品川第一区民集会所で、「たこづくり教室」が開催されました。

この教室では、品川第一・第二両地区の小学生31名が親子で一緒にたこ作りに挑戦しました。今回作ったのは、和紙と竹ひご、紙テープを使ってできるシンプルなたこで、最後に自分の好きな絵を描いて完成です。



子どもたちは、自分の好きな動物やキャラクターなどの絵を一生懸命描いて、カラフルなかわいいたこを完成させ、次の日のたこあげ大会に胸をおどらせていました。

＜ 親子たこあげ大会 ＞

1月12日(日)、東京電力品川火力発電所内の広場で、品川第一地区委員会、品川第二地区委員会主催の「親子たこあげ大会」が開催されました。前日のたこづくり教室に参加した子どもたちをはじめ、157名の親子が参加しました。また、都立八潮高校の生徒もボランティアとして参加しました。

大会当日は、日差しが暖かく、外遊びに絶好の天気となりました。風が少し弱かったため、子どもたちは保護者と協力して、広場内を走り回ってたこをあげて楽しんでいました。区内ではたこあげが出来るような場所が少ないため、初めてのたこあげを体験する親子も多く、苦戦しながらも真っ青な空に数多くのたこが舞い上がりました。

また、たこあげの他にもジェット風船や羽根つき、けん玉、コマ回しなどの「昔ながらの遊び」を親子で汗をかきながら楽しんでいました。

さらに、希望者は「発電所見学」にでかけ、中央管理室の見学や火力発電所の仕組みを学びました。

今回のたこあげ大会を通じて、親子で体を動かすことの楽しさや昔ながらの遊びの楽しさを再確認できました。



親子バスハイク ~ みなとみらいで遊ぼう! 学ぼう! ~

平成25年11月17日(日)、品川第一地区委員会は、神奈川県横浜市のみなとみらい周辺で遊んで学べる「親子バスハイク」を実施しました。参加者は、小学生を中心に73名、スタッフを含め総勢98名でした。

当日は、貸切バスで新馬場駅前から出発しました。車内で開会式を行い同じグループになったお友達を覚えていこうと、[三菱みなとみらい技術館]に到着。館内で深海調査船の「しんかい6500」や、国産旅客機MRJの操縦などを競って体験し、午前中いっぱい科学技術に関する展示や体験を思う存分楽しみました。

次に、[日本丸メモリアルパーク]へ移動しました。パーク内にある横浜の港を臨む芝生の上で、横浜名物のシウマイ弁当を食べました。天候にも恵まれ、暖かい日差しの中で爽やかな秋風に吹かれながら昼食となりました。



食事を終えたグループから、実際に航海していた「帆船日本丸」の中を見学し、「横浜みなと博物館」の趣向を凝らした展示で、横浜の港と船について学びました。

さらに、バスに乗り込んで、「カップヌードルミュージアム」へ移動。ここでは、チキンラーメンファクトリーでのチキンラーメン作り体験と、館内見学を行いました。

チキンラーメン作りではスタッフの案内で親子や友達とペアになって協力しながら、生地をこねるところから始めて、90分かけて自分で「世界に一つだけのオリジナルチキンラーメン」を作りました。

また、ひよこちゃんバンダナのお土産を貰い、大人も子どもも大喜びでした。



☆ ボウリング大会 ☆

平成25年12月22日(日)、品川第一地区委員会主催による、「ボウリング大会」が、品川プリンスホテルボウリングセンターで開催されました。参加者は78名でした。

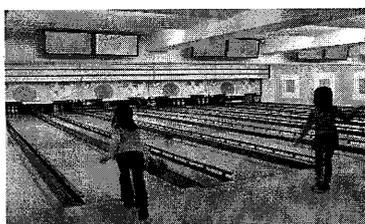


今年度は、開会式のあとに品川学園PTA会長で7口ボウラーの上原さんによる「ボウリング教室」が開かれました。子どもも大人もボウリング上達のためのポイントをレクチャーされ、高得点が取れるように学んでいました。

そのあとのボウリング大会では、一人2ゲームの合計得点で順位を競いました。参加者は低学年の部、高学年の部、一般の部に分かれ、皆さん大きな声援が送られるなか、真剣な顔つきでボウリングを楽しんでいました。

レクチャーのおかけか、バンパーを使用したおかけか、ガーターの少ない高得点の争いとなりました。

表彰式では、低学年と高学年の部の優勝者にトロフィーと景品が贈られ、大きな拍手とともに嬉しそうに受け取っていました。その他の2位、3位、フービー賞、飛び賞にも賞品が贈られ、大盛況のなか終了しました。



参加者からは、「とても楽しかった。来年もまた参加したい。」との感想をたくさんいただきました。

参加してくれた皆さん、ありがとうございました。